三鷹市立第　中学校　令和8年度【美術】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	〈成果〉 ○タブレットを活用して鑑賞活動を充実させることができた。 ○指導と評価の一体化を図ることができた。	〈現状〉 ○タッチペンを活用してタブレット上で色の配色計画を組み立て、実際に混色するよりも時間を短縮して制作することができた。 〈課題〉 ○授業規律の徹底。 ○鑑賞活動のさらなる充実。	◎レポートをまとめる課題で、調べる際のルールをしっかりと示したり、評価が何の目的であるかをきちんと理解させたり、基本的な授業に臨む姿勢をきちんとつくっていく。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して重点を明確にした授業を計画する。
第2学年	〈成果〉 ○評価の観点を明確にした題材であり、参考サイトはまだあまり紹介できていない。 ○タブレットを使って作品や振り返りを共有したことで生徒にとって目指すものが明確だった。 ○１時間ごとのねらいを板書し生徒に示すことで、生徒が何を取り組めばよいかがわかるような授業を展開することができた。	〈現状〉 ○タブレットを活用し深い学びにつなげることができた。 ○作品の大きさを小さくすることで多くの生徒が作品の密度を上げることができ、良い作品ができたと感じられるものができた。 〈課題〉 ○鑑賞活動のさらなる充実。 ○参考にする作品や素材の選び方を学ぶ。 ○美術館等のサイトの紹介。	◎題材の導入時や、作品完成後に鑑賞の時間を積極的に取り入れる。形や色彩などから、作者の意図や作品の良さを感じ取り、自分の考えを豊かに表現する力を身に付けさせる。 ◎タブレットを見ながら参考作品を写すのではなく、生徒のイメージを言語化しながら、より確かなものとしていく活動を重視する。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して重点を明確にした授業を計画する。
第3学年	〈成果〉 ○視覚に訴える資料を増やすことで、生徒が制作の見通しをもつことができた。 ○制作の経過を記録することで見通しを持つことができるようになった。	〈現状〉 ○表現活動と鑑賞活動をバランスよく取り入れた授業を行っている。 〈課題〉 ○鑑賞活動のさらなる充実。 ○学習内容と既習事項の関連付けや一般化。 ○自ら進んで学びに向かう姿勢。 ○意図をもって調べる意識付け。	◎題材の導入時や作品完成後に鑑賞の時間を取り入れる。形や色彩などから、作者の意図や作品の良さを感じ取り、自分の考えを豊かに表現する力を身に付けさせる。 ◎調べ学習において、既習事項を積極的に取り入れて調べさせたり、自分の考えを書かせたりする。 ○表現、鑑賞活動を通して、美術の魅力を伝えていくとともに、自ら進んで調べ、発信する活動を増やしていく。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して重点を明確にした授業を計画する。